

2020 年度  
学校教育における  
即興型英語ディベートの推進・指導者育成  
中間報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2021 年 4 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



# 目次

## 1 研修会・地域交流大会・合宿・大会

1.1	PDA 神奈川交流大会 体験会 (厚木高校、光陵高校、茅ヶ崎北陵、相模原高校)	10月3日
1.2	PDA 首都圏交流大会 体験会 (八王子東高校)	10月8日
1.3	PDA 首都圏交流大会 体験会 (埼玉県立浦和高校)	10月9日
1.4	2020年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第4回英語4技能指導法研究グループ研究会	10月9日
1.5	PDA 神奈川交流大会 体験会 (鎌倉高校、湘南高校、多摩高校、大和高校)	10月10日
1.6	PDA 神奈川交流大会 体験会 (小田原高校、川和高校、横浜緑ヶ丘高校)	10月24日
1.7	PDA 中四国公立高校 即興型英語ディベート交流大会	10月25日
1.8	PDA 首都圏交流大会 体験会 (都立西高校)	10月27日
1.9	PDA 首都圏交流大会 体験会 (埼玉県立浦和第一女子高)	10月28日
1.10	PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会	10月31日
1.11	PDA 岩手県公立高校 即興型英語ディベート交流大会	11月3日
1.12	2020年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会) 第6回英語4技能指導法研究グループ研究会	11月11日
1.13	第7回 PDA 首都圏公立高校 即興型英語ディベート交流大会	11月15日
1.14	第6回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会	12月19日-20日
1.15	第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 2021	1月23日-24日
1.16	PDA 東京都公立中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会 2021	2月13日
1.17	令和二年度 PDA 熊本県高校生即興型英語ディベート交流大会	2月20日
1.18	PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2021	3月7日
1.19	第4回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会	3月20日
1.20	PDA 京都高校即興型英語ディベート交流大会	3月23日



文部科学省後援 第6回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2020年12月19日(土)、20日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：東京大学生産技術研究所、公立大学法人大阪 大阪府立大学

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、全国高等学校長協会、一般社団法人  
日本英語交流連盟、一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団



参加校：

(北海道) 北海道釧路湖陵高等学校、(青森県) 青森県立青森高等学校、(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校、(秋田県) 秋田県立角館高等学校、(茨城県) 清真学園高等学校・中学校(栃木県) 栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立佐野高等学校、私立作新学院高等学校、(群馬県) 群馬県立前橋高等学校、(埼玉県) 埼玉県立浦和高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、(千葉県) 翔凜高等学校、(東京都) 東京都立日比谷高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立両国高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、武蔵高等学校、豊島岡女子学園高等学校、富士見高等学校、獨協高等学校(神奈川県) 神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立多摩高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院高等学校、浅野学園高等学校、洗足学園中学高等学校、湘南白百合学園高等学校、(富山県) 富山国際大学附属高等学校、(石川県) 石川県立金沢泉丘高等学校、(福井県) 福井県立藤島高等学校、(長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本深志高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、(岐阜県) 岐阜県立岐阜高等学校、(静岡県) 静岡県立静岡高等学校、(三重県) 三重県立四日市高等学校、(京都府) 京都市立堀川高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、(大阪府) 大阪府立北野高等学校、関西大倉高等学校、(兵庫県) 神戸市立葺合高等学校、神戸大学附属中等教育学校、(奈良県) 奈良県立奈良高等学校、奈良県立郡山高等学校、(鳥取県) 鳥取県立鳥取西高等学校、(山口県) 山口県立山口高等学校、(徳島県) 徳島県立城ノ内高等学校、(香川県) 香川県立高松高等学校、(福岡県) 福岡県立城南高等学校、福岡県立香住丘高等学校、(佐賀県) 弘学館高等学校、(熊本県) 熊本県立熊本高等学校、熊本県立第二高等学校、熊本県立八代高等学校、(鹿児島県) 鹿児島県立甲南高等学校、鹿児島県立大島高等学校、(沖縄県) 沖縄県立球陽

高等学校、(補欠) 私立雲雀丘学園高等学校

65 校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

論題(論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます)：

予選 1：Wearing a mask should be mandatory.

(マスクの着用を義務化すべきである。)

予選 2：The media should not report on suicide.

(メディアは自殺のニュースを報道すべきではない。)

予選 3：Infertility treatment should be free.

(不妊治療を無償化すべきである。)

予選 4：Class-size reduction in elementary schools does more good than harm.

(小学校での少人数学級は、害よりも利益をもたらす。)

準々決勝：Tuition fees for university STEM departments should be free.

(大学理系学部の授業料は無償とすべきである。)

準決勝：Prevention of COVID-19 should be prioritized over boosting economy in developing countries.

(発展途上国において、経済よりも新型コロナウイルス感染症対策を優先すべきである。)

決勝：Japan should introduce a basic income.

(日本は、ベーシックインカムを導入すべきである。)

キーノートレクチャー講師：

- 文部科学省 科学技術・学術総括官 合田 哲雄 氏
- 東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス 大学院情報学環 准教授  
川越 至桜 氏
- 国際協力機構(JICA) ウガンダ事務所 井上 裕紀 氏

## 1 日目

本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。開会式では、65校の高校が紹介されました。北は北海道から南は沖縄まで、全国から高校生・教員・見学者がZoomのミーティングルーム内に集まりました。数多い参加者で画面が埋め尽くされ、例年と変わらない熱気の中スタートしました。大会でのルール諸注意、PDA認定教育ジャッジの紹介、大会ジャッジまた 트레이ニーとして参加していただいた教員や大学生へ向けたジャッジ手順の確認が行われました。



開会式の様子（左上：参加校一覧）

開会式が終わるとついに予選の開始です。64チームが一斉にディベートを行います。1日目は予選が4試合行われ、その結果を受けて準々決勝に進出するチームが決まります。予選1の論題は「マスクの着用を義務化すべきである。」です。肯定側はマスクをしないことによる感染拡大の懸念や着用しない人が周囲に与える影響を説明し、否定側は夏季やマスクアレルギーを持っている人が義務化により受ける影響を出しているチームがありました。例として、実際に自分の学校でしている感染対策も紹介されました。



### 予選 1 八代 VS 角館

予選 1 終了後昼休みがありました。生徒たちが次のラウンドに備えて休息をとる間、校長先生方とのご挨拶（オンライン名刺交換会）を実施しました。イベント開催が難しい現状の中、この規模の大会が実現したのは校長先生方、教員の皆様のご理解、参加校の皆様ののおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。



### 校長先生方、KDDI 財団理事長ご挨拶(オンライン名刺交換会)の様子

予選 2 の論題は「メディアは自殺のニュースを報道すべきではない。」です。1 試合目でジャッジにももらったアドバイスなどを参考にしながらも、有名人の例やメディアの役割、報道がされなかった場合の影響などについて白熱した議論が行われました。



### 予選2 日比谷 VS 球陽



### 予選2 四日市 VS 嵯峨野

2 試合目と 3 試合目の間にレクチャーが行われました。大阪府立大学看護学類准教授の大川先生により、不妊の原因や不妊治療の種類、現状行われている支援について説明があり、治療にかかる費用や不妊治療に対する悩みなど普段聞くことのない情報に生徒たちは興味津々でした。



大阪府立大学看護学類准教授 大川先生のレクチャー

予選3の論題は「不妊治療を無償化すべきである。」です。レクチャーで学んだばかりの内容をそれぞれが整理し、慣れない単語やデータを使いながら精一杯論点を述べていました。ディベート後にはチーム同士で交流を深めていた学校もあったようです。



予選3 葺合 VS 郡山



予選3 横須賀

予選4の論題は「小学校での少人数学級は、害よりも利益をもたらす。」です。全国の様々な場所から集まっている全国大会ならではの、異なる立場からの意見が多く聞かれました。第4ラウンドは試合後のジャッジからの勝敗の発表はありません。翌日のブレイクアナウンスメントをお楽しみに!(翌日、各校へジャッジからのコメントシートが配布されます。)



予選4 盛岡第一 VS 北野



予選4 香住丘 VS 伊奈



予選4 金沢泉丘 VS 高松



試合後には交流もありました



予選 球陽



予選 県立浦和

第4ラウンドが終わると外はすっかり暗くなり、熱中していた時間の長さには驚かされました。生徒たちも明日の発表への不安もありつつ、4試合全力で成し遂げた達成感を感じさせるいい顔を見せ1日目終了いたしました。

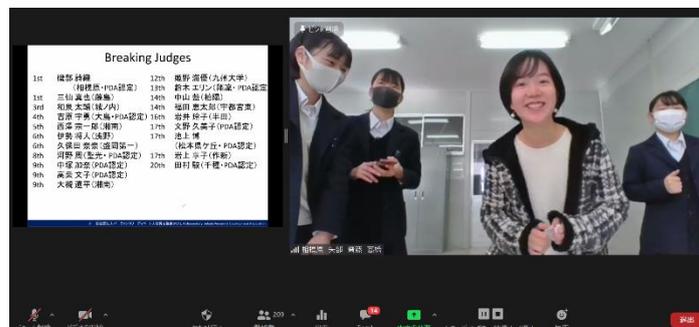
事前に各校に郵送されている内容物の中でPDAオリジナルポストイットとお菓子のクリスマスプレゼントがありました。Merry Christmas! See you next day!

## 2日目

2日目の最初は、決勝トーナメントに進むチームの発表（Break Announcement）です。緊張した面持ちの生徒が続々と集まってきます。

まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次の学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジをそのフィードバックの内容と表現でそれぞれ5段階評価します。平均点が高かった20名の先生方が発表されました。おめでとうございます。

次に、準々決勝に出場するチーム1位から8位までが発表されました。喜びの音が響き渡りました。

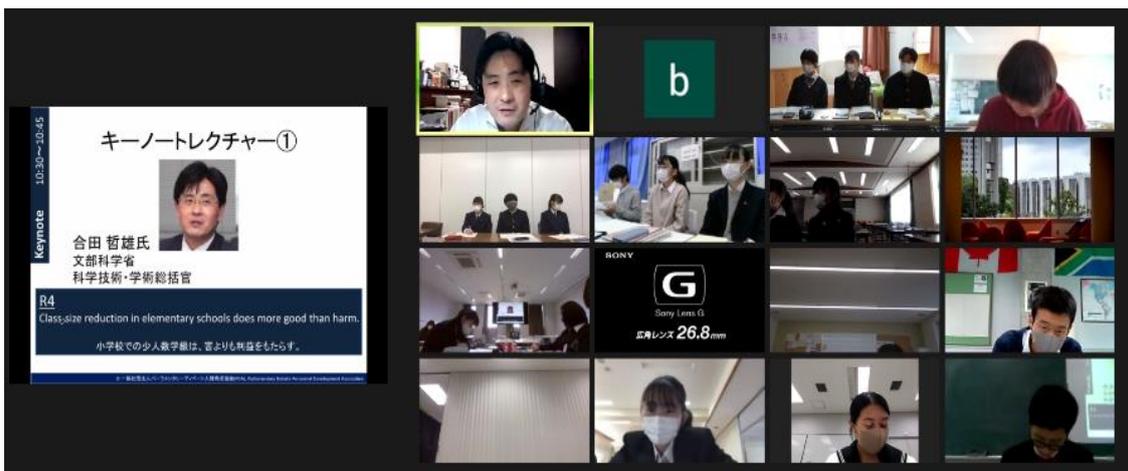


先生のジャッジ受賞に喜ぶ生徒たち(最優秀ジャッジ賞)

## 予選結果

- 予選 1 位 聖光学院高等学校
- 予選 2 位 神戸大学附属中等教育学校
- 予選 3 位 筑波大学附属駒場高等学校
- 予選 4 位 栃木県立佐野高等学校
- 予選 5 位 徳島県立城ノ内高等学校
- 予選 6 位 湘南白百合学園高等学校
- 予選 7 位 岩手県立盛岡第一高等学校
- 予選 8 位 富山国際大学付属高等学校

準々決勝の論題は「大学理系学部の授業料は無償とすべきである。」です。出場者が準備をしている間、文部科学省科学技術・学術総括官の合田哲雄氏から前日の第4試合に関してこれからの学びの在り方についてレクチャーがありました。



文部科学省 合田 哲雄氏によるキーノートスピーチ

準々決勝は 4 つの会場で行われました。新型コロナウイルスの感染拡大を経て認識されるようになった研究者養成の必要性が主張される一方、教育として文系科目との差別化を進めることに対する懸念や既存の奨学金制度に至るまで、準々決勝にふさわしい議論となりました。



準々決勝の論題発表

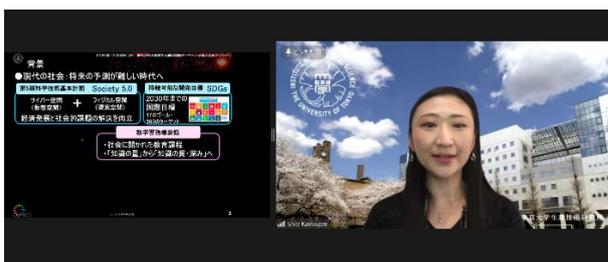
準決勝進出を喜ぶ生徒

準々決勝終了後は、お昼休みです。昼食をとりながら交流します。メインルームではブレイクアウトルーム機能を用い、少人数に分けて生徒同士の交流会が行われ、ディベートに関する話題や各校の特徴、クリスマスケーキについてなど高校生らしい楽しそうな会話が聞こえてきました。



生徒交流会(オンライン昼食会)の様子

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「発展途上国において、経済よりも新型コロナウイルス感染症対策を優先すべきである。」です。15分の準備時間の間、東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス大学院情報学環准教授の川越至桜氏より準々決勝の論題に関するレクチャーがありました。これから社会に出るために欠かせないスキルや、論題であったSTEMに人文系科目を加えたSTEAM教育が新しい価値創造に必要であること、そのために東京大学が行っている試みを紹介されました。



東京大学 川越 至桜氏によるキーノートスピーチ



準決勝 聖光 VS 城ノ内



### 準決勝 湘南白百合 VS 神大附

準決勝のあとは、いよいよ決勝戦です。決勝の論題は「日本は、ベーシックインカムを導入すべきである。」です。3位決定戦も同時に行われました。

また、決勝の準備時間の間に、国際協力機構（JICA）ウガンダ事務所の井上裕紀氏に、準決勝の論題にあった発展途上国であるウガンダの現状について講演をしていただきました。大学時代ディベートをされていた経験からの準決勝の講評もあり、生徒たちは真剣に聞いていました。



JICA 井上氏によるキーノートスピーチ



緊迫した決勝戦の様子



3位決定戦の様子



決勝戦後、エア握手する生徒たち

決勝戦、3位決定戦が終了し、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われました。また、文部科学省・外務省後援 第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールドコンGRESS）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

### 第6回 PDA 即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝：聖光学院高等学校

準優勝：湘南白百合学園高等学校

第3位：神戸大学附属中等教育学校

準決勝出場チーム（第4位）：徳島県立城ノ内高等学校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・富山国際大学附属高等学校
- ・岩手県立盛岡第一高等学校
- ・筑波大学附属駒場高等学校
- ・栃木県立佐野高等学校

PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけではなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。2022 年度より、新学習指導要領に記載されている新科目「論理・表現」において、ディベートやディスカッションを行うことが示されており、質の高い授業導入が期待されます。

<授業導入優秀賞>

- ・青森県立青森高等学校
- ・秋田県立角館高等学校

<授業導入賞>

- ・岩手県立一関第一高等学校
- ・岩手県立盛岡第一高等学校
- ・栃木県立宇都宮東高等学校
- ・私立作新学院高等学校
- ・栃木県立佐野高等学校
- ・栃木県立宇都宮高等学校
- ・埼玉県立伊奈学園総合高等学校
- ・埼玉県立浦和高等学校
- ・獨協高校
- ・東京都立日比谷高等学校
- ・神奈川県立多摩高等学校
- ・神奈川県立柏陽高等学校
- ・長野県長野高等学校
- ・岐阜県立岐阜高等学校
- ・京都市立日吉ヶ丘高等学校
- ・京都市立堀川高等学校
- ・大阪府立北野高等学校
- ・葦合高等学校
- ・奈良県立郡山高等学校
- ・山口県立山口高等学校
- ・徳島県立城ノ内高等学校
- ・福岡県立城南高等学校
- ・福岡県立香住丘高等学校
- ・弘学館高等学校
- ・熊本県立第二高等学校

- ・熊本県立八代高等学校
- ・鹿児島県立大島高等学校
- ・沖縄県立球陽高等学校

<その他個人賞> (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI 賞

以上の結果を受け、第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の5校に進呈されました。

<1位~3位> 聖光学院高等学校、湘南白百合学園高等学校、神戸大学附属中等教育学校

<授業導入優秀賞> 青森県立青森高等学校、秋田県立角館高等学校



優勝: 聖光学院高等学校

準優勝: 湘南白百合学園高等学校



賞を取った生徒には賞状また一部副賞が授与されます

## アンケートの声（抜粋）

### 【生徒の声】

- ・全国の高校生とオンラインで簡単に関わることができて大変刺激になった。今後ニュースを自分から取り入れ、機会があったら来年挑戦したい。（金沢泉丘）
- ・今回初めての参加だったのですが、他の高校さんのディベートを聞き、素晴らしいなあと思いました。また、高校との交流では、お互いの知らないことも沢山知れて良かったと思います。また機会があれば是非参加したいです。（日吉ヶ丘高校）
- ・初めて全国大会に参加しましたがとても楽しく、大変勉強になりました。特にジャッジの先生の客観的な個人コメントや、主張をより強化するためのアドバイス等がとても役立ちました。（釧路湖陵）
- ・パラメンタリーディベートの大会に出るのが初めてだったのですが、全てを即興で用意し即座に反論しなければいけない、さらには時に自分の意見と反対の主張をしなければならないという難しい条件が知的好奇心を刺激し、とても楽しかったです。全国の様々な高校と試合をさせて頂き、決勝トーナメントも見学できたことで沢山のことを学ばせて頂きました。（清真学園）
- ・（遠隔開催について）私は1年生なので、直接会ってやるディベートの経験がほぼないので、直接に比べて緊張しないし、表情も伝えやすいと思います。また、会場に行かなくて良いのも移動が楽で良いです。私は、遠隔開催でなかったら参加していなかったと思います。（四日市）
- ・全国からディベーターが集まり、試合をするだけでなく交流を楽しむ空気があり楽しかったです。論題もタイムリーなものばかりで日頃から新聞を読んで自分なりの意見を考えておくとか活かそうだなと感じました。個人的には、高2の先輩も帰国子女もいない中で1年生3人で1つの大会を乗り越えられたことをとても嬉しく思います。これからも目先の勝ち負けに拘りすぎず、部活の仲間とディベートを楽しんでいきたいです。（豊島岡女子）
- ・コロナという悲惨な世の中で希望も楽しみも普段より消えてしまいそうなかで開催できたこと、周りから多くの刺激を受けたこと、自分の成長を感じながらも今後の成長に繋がるような戦いできたことが何よりも嬉しかったです。来年は受験期で参加できないと思いますが、ディベートの楽しさ、英語の楽しさと難しさを身に染みて感じながら、今後の人生の中で生かせる機会を積極的に探していきたいと思いました。ありがとうございました。（浦和第一女子）
- ・夏に参加したときよりもより一層深めることができこれからの活力にもなりました、他の試合を見たりもう少しこうすればよかったとか考えたりできて良かったです（山口）

- ・ 普段よりもとても良い刺激になったと思います。学校では同じ人とディベートをしている関係で、どうしても同じような考え方に陥りやすいが、全国大会では驚かされるような観点の考え方や表現など非常に多くを学ぶことができとても良かった。(奈良)
- ・ 全国の素晴らしいディベーターの方々と熱い議論を交わせたから。また、ディベート後には談笑をし、とても楽しかったから。(一関第一)
- ・ 交流会のように、ブレイクアウト機能を使用することで実際に会場ではあだけの他校の方々と交流できなかつたと思うので、この点が特に良かったです。(富山国際)
- ・ 初めてブレイクして嬉しかったです！ 普通のパーラより短くてどうすれば質の高いスッキリとしたスピーチができるのか、そこに取り組むことを頑張りました。この技術は、普通のパーラを超えて、社会でも役に立つものだと思います！(盛岡第一)
- ・ 出てくる論題が考えさせられるものばかりで大変面白かったです。個人的には JICA の方のお話がとても興味深く、将来像が少しずつ clear になって行くのを感じました。(藤島)
- ・ 参加させていただきありがとうございました。予選敗退という結果でしたが、他校のディベートからたくさん得るものがありました！ 同い年の子が頑張っている姿に刺激され、自分を高めるいい機会になりました。ありがとうございました！(高松)
- ・ ハイレベルなディベートに 4 ラウンド参加できた。他校との交流時間が楽しかったから。(洗足)
- ・ 自分の英語力はまだまだだと実感すると同時に、更にレベルアップしたいという思いが強くなった。とても良い刺激を受けた。(静岡)
- ・ (本大会で最もよかった点) アルフォートがもらえたこと。試合を通じてキャリアを積めたこと。(長野)

#### キーノートスピーチについて

- ・ 事前に自分達が用意していた情報よりもより具体的に且つ多角的に分析されていて、それらが実際にどのような影響を与えてきたかなども知れてとてもためになった(横須賀)
- ・ 論題について理解を深められた。(筑駒)
- ・ 普段はお会いできないような方からお話を聞けてとてもためになりました。(岐阜)
- ・ 自分の全く知らない分野を知れて良かったです。(熊本)

### 【教員・見学者の声】

- ・レベルの高いディベートをたくさん見ることができました。ジャッジもたくさんさせていただいて、とても勉強になりました。また、いい経験にもなりました。今回、1位に選んでいただけたのも衝撃で、嬉しい思い出になりました。各校の先生方、生徒、PDAのみなさまのおかげです。
- ・生徒にとっては良い経験になりました。私自身も見ていて面白かったです。ありがとうございました。
- ・年々レベルが上がっていると思います。参加の都道府県が多いことも魅力です
- ・今回初めての出場でしたが、ジャッジの仕方等も含め非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・参加2回目ですが、参加するたびに生徒、教員が成長させていただいています。今回も大きな刺激をいただき、よい体験をさせていただきました。引き続き、PDA 頑張らせませう！来年度も戻ってこれるように精進いたします。ありがとうございました。運営の皆さま、本当にありがとうございました。
- ・（キーノートスピーチについて）不妊治療については難しかったのですが、終わってみればディベートにどう使うかを考えながら聞くことが大切だったと、生徒は気づいたようでした。これもいい学びでした。
- ・円滑な運営で参考になります。運営方法をご助言頂ける機会があるなら是非お願いしたいです。
- ・今まで準備型英語ディベートしかしていなかったもので、即興型の楽しさが分かりました。レクチャー、キーノートレクチャーもとてもいいアイデアだと思います。
- ・（遠隔開催について）東京までは、いけないので、遠方の学校はうれしいですね。見学もできなかったと思います。（見学）
- ・高校生が努力を重ねている様子を見て日本の教育のすばらしさを感じた。（見学）

以上



## 文部科学省・外務省後援

### 第6回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート

### 世界交流大会 2021 報告書

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

#### 日程：

2021年1月23日(土)、24日(日)

#### 会場：

オンライン開催 (Zoom)

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
助成：	公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、 一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：21 チーム (日本 5 チーム、海外 16 チーム)

日本 聖光学院高等学校

日本 湘南白百合学園高等学校

日本 神戸大学附属中等教育学校

日本 青森県立青森高等学校

日本 秋田県立角館高等学校

UAE Fatimah Bint Mubarak for Secondary Education

フィリピン Timber City Academy

モンゴル Hobby School of Ulaanbaatar

タイ Demonstration School (Secondary), Prince of Songkhla University

ネパール (欠場)

モロッコ Moroccan National Debate Team

ベトナム Vinh Linh High School

タジキスタン Economics Lyceum for Gifted Students, Presidential School

ウガンダ National Debate Council Uganda

南アフリカ (欠場)

パキスタン、ケニア (Swing 1)

中国、アメリカ、オランダ (Swing 2)

韓国 (Swing 3)

17 各国 (日本含む)



## 大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。

本大会では、パーラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。キーノートスピーチなど最新の講演も織り交ぜ、グローバルに活躍できる人財育成とすることを目的とします。ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

**論題**（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : High school students should have part-time jobs.

高校生はアルバイトをすべきである。

予選 2 : The death penalty should be abolished.

死刑は廃止すべきである。

予選 3 : Government should force people to take a COVID-19 vaccine.

政府は COVID-19 ワクチン接種を義務化すべきである。

予選 4 : The permanent ban of Donald Trump's Twitter account should be removed.

ドナルド・トランプ氏の Twitter アカウントの永久凍結は解除されるべきである。

準決勝 : Combat sports should be banned.

コンバットスポーツは禁止されるべきである。

決勝 : Development aid does more harm than good in developing African countries.

アフリカの発展途上国に対する開発援助は利益よりも害をもたらす。

## キーノートスピーチ講師

We Think Code\_ Co-founder, BiB.africa Co-founder

2019 Forbes Woman Africa winner

(Technology and innovation Award)

Ms. Arlene Mulder



## 1 日目（開会式、予選 3 ラウンド、文化交流、カルチャーナイト）

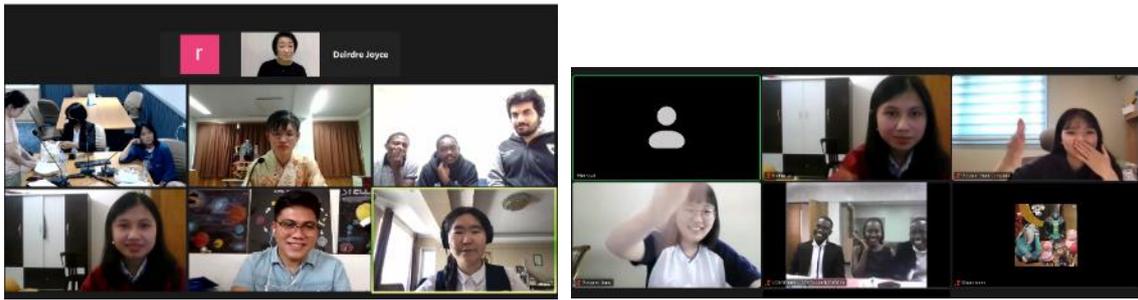
第 6 回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会が始まりました。開会式では PDA 代表理事の中川智皓から挨拶と各国のチーム紹介（海外 16 ヶ国から 16 チーム、日本からは 5 校）がありました。チーフジャッジの綾部先生からルールの確認がありました。



開会式後、早速予選が始まりました。ディベート中は、POI（Point of Information）が活発に交わされ、白熱した議論が繰り広げられました。ディベートが終わりジャッジの先生からのフィードバックに移ると、次のラウンドに活かそうと真剣にアドバイスを聞く姿が見られました。

論題は「High school students should have part-time jobs. 高校生はアルバイトをすべきである。」、「The death penalty should be abolished. 死刑は廃止すべきである。」、「Government should force people to take a COVID-19 vaccine. 政府は COVID-19 ワクチン接種を義務化すべきである。」の 3 つでした。Zoom を使用して離れた国のチームとディベートをする経験は生徒たちにとって刺激となったようです。ディベートを通して生徒たちが文化の違いによって議論の前提が異なることに気付く場面もありました。高校の授業料がすでに無償化されている国もあれば、そうでない国もあります。また、就職活動における就業経験を重視するか否かも異なります。それぞれの前提をすり合わせて議論を行うことも、生徒たちにとっては新しい経験となりました。



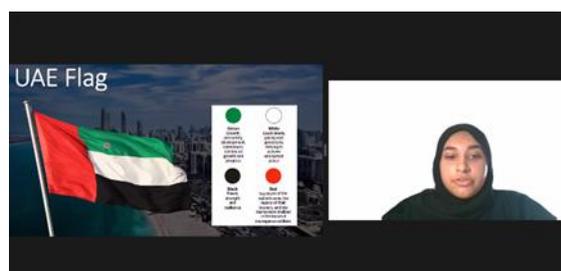


予選1ラウンド後に、Zoom ブレイクアウトルームを用いた交流が行われました。10分ごとに話し相手を変え、前のラウンドの結果やそれぞれのチームの衣装などについて話し合ったようです。10分では足りないという声が聞かれるほど、生徒たちは交流を楽しんでいました。

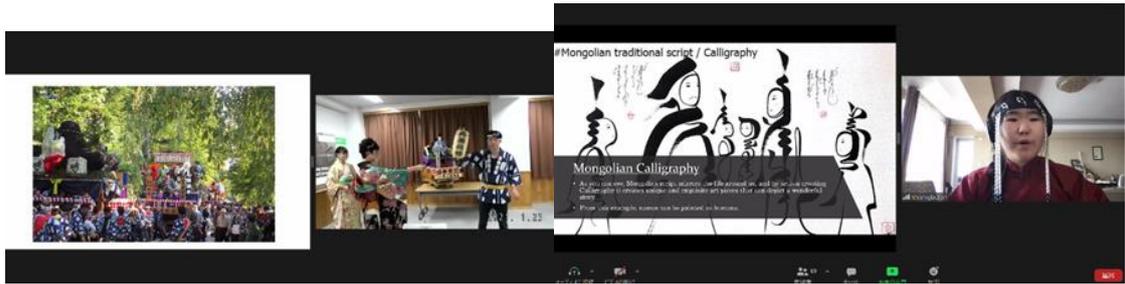
予選2ラウンド後のカルチャーナイト（世界の国々の文化紹介）では、各国の魅力を紹介するプレゼンテーションが行われました。伝統のダンスや歌、食の魅力や美しい景色、文化などをお互いに知る機会となりました。Zoomのチャット欄では各々のパフォーマンスに賞賛が送られ続けました。



聖光



アラブ首長国連邦



角館

モンゴル



フィリピン



湘南白百合

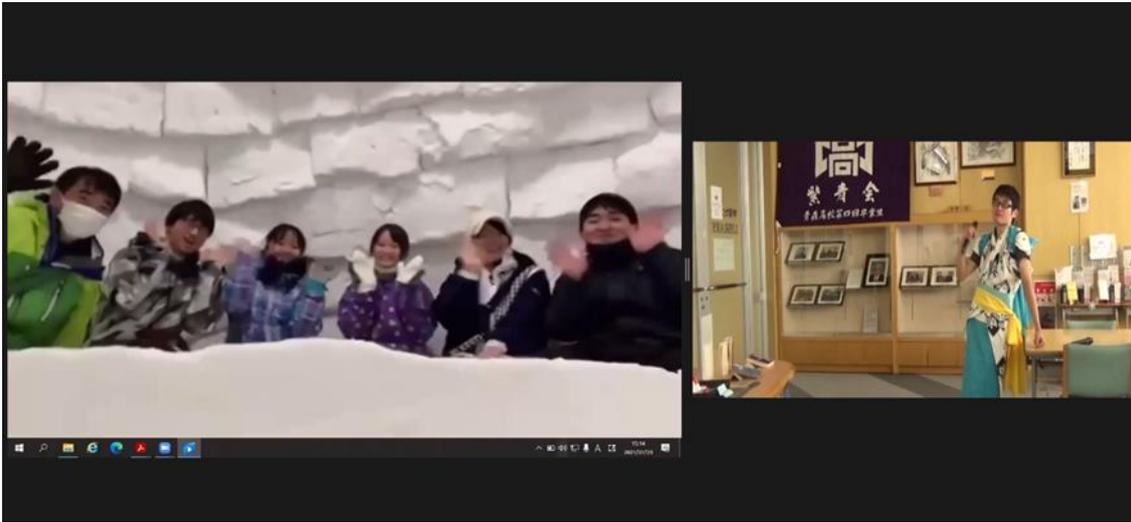
モロッコ



タイ



ウガンダ



青森



タジキスタン

ベトナム

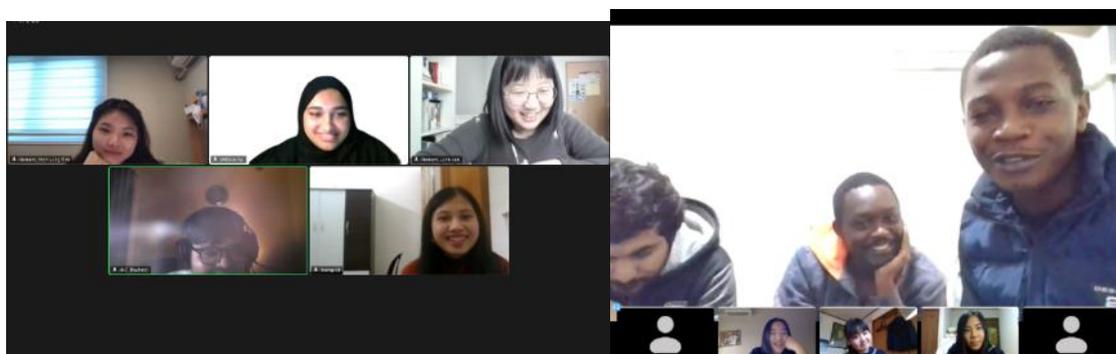
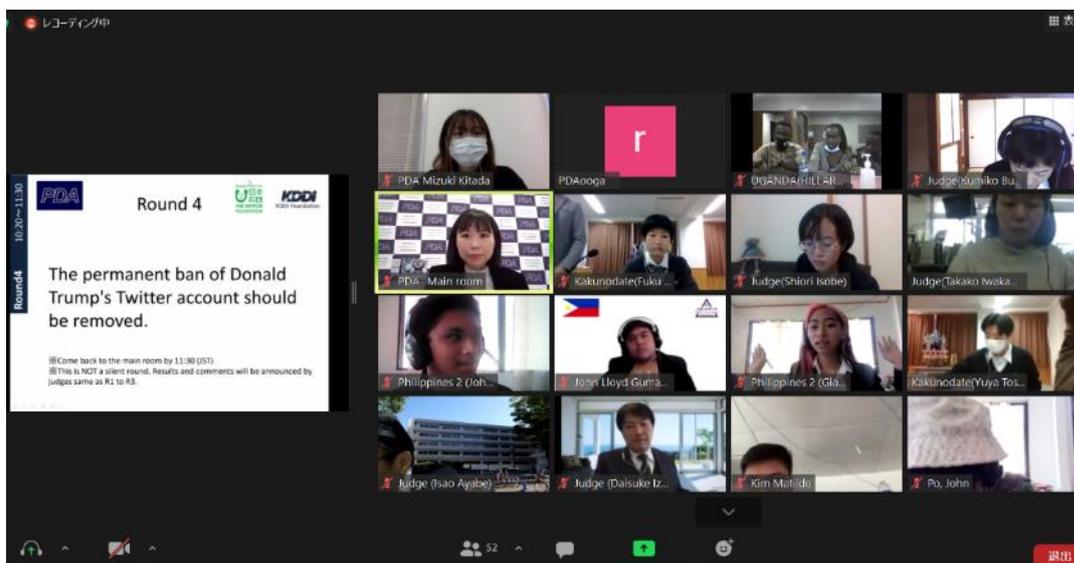


神戸大附属

中国

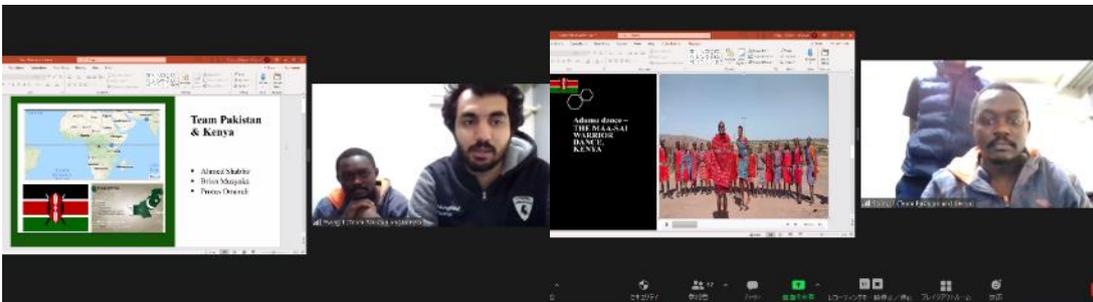
## 2日目（予選、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

2日目は予選ラウンド4から始まります。論題「The permanent ban of Donald Trump's Twitter account should be removed. ドナルド・トランプ氏の Twitter アカウントの永久凍結は解除されるべきである。」のもと、昨日の反省点を踏まえ、熱いディベートが繰り広げられました。

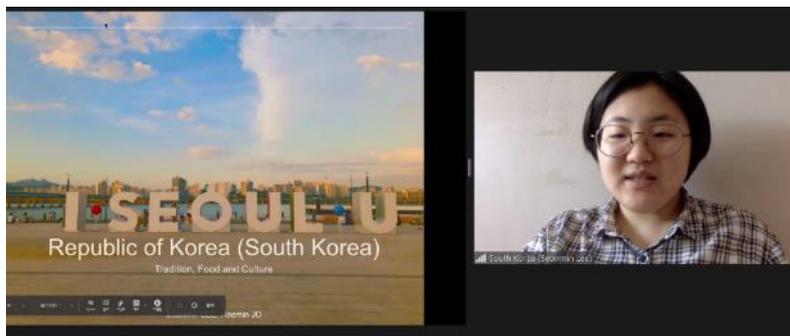




予選後はレクリエーションです。昨日発表できなかった国のプレゼンテーションを行った後、ブレイクアウトルームにて生徒たちは会話を楽しみました。それぞれの出身地について詳しくなったからか、昨日より親密な会話が聞こえました。



パキスタン&ケニア



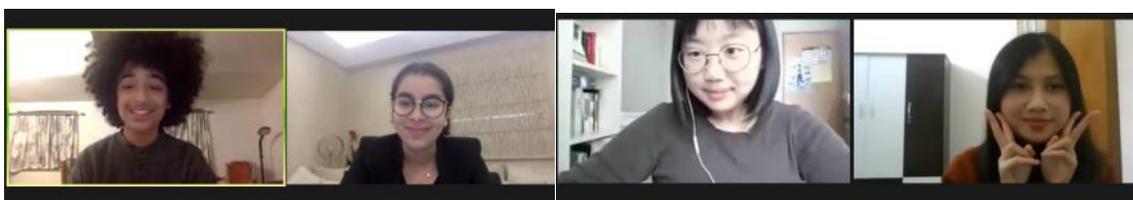
韓国

休憩をはさみ、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）が行われ（結果は下記）、準決勝が始まりました。準決勝に進出できなかったチームも、メモを取りながら準決勝を見学し、試合後に意見交換をする様子も見られました。



聖光

モロッコ (レッド)



モロッコ (グリーン)

ベトナム・韓国 swing



フィリピン2



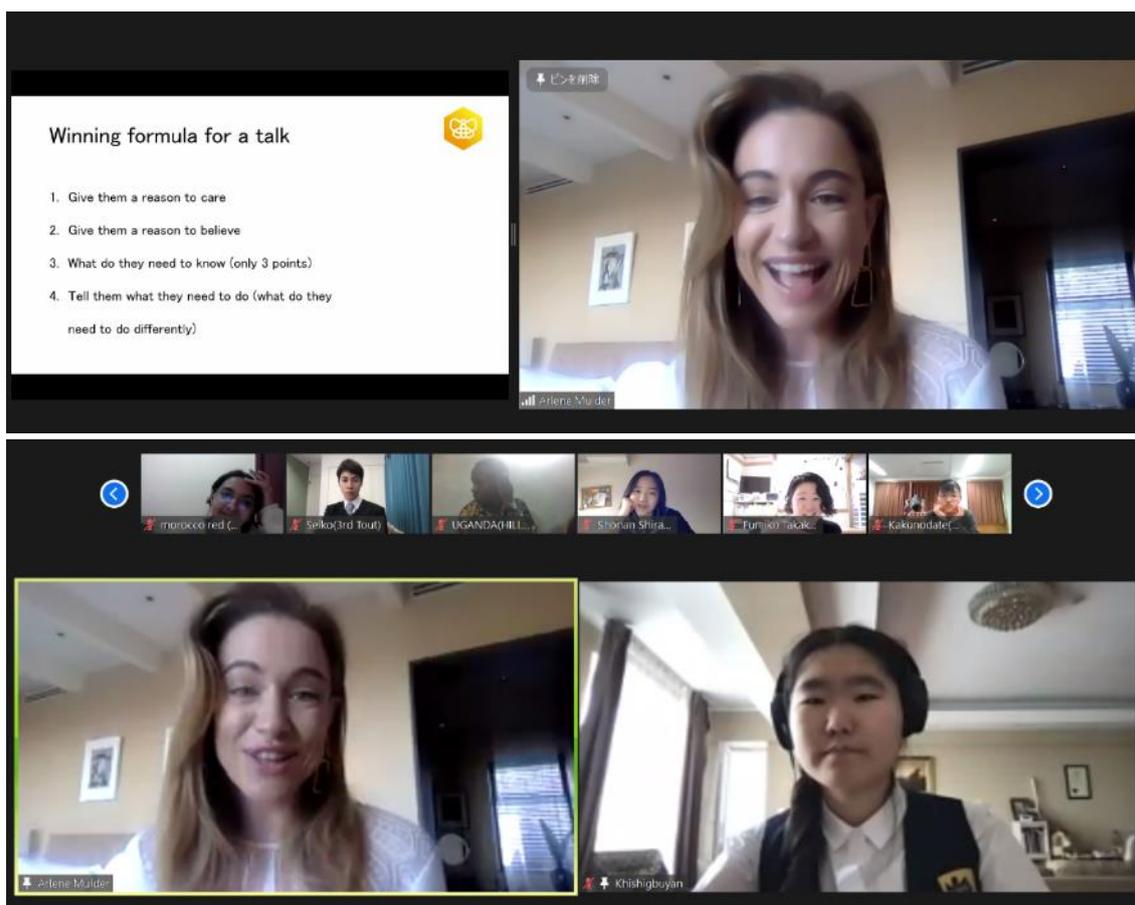
準決勝 1

準決勝 2

## 予選結果

- 1位 聖光
- 2位 モロッコ レッド
- 3位 モロッコ グリーン
- 4位 ベトナム (韓国 swing, ブレイク権無し)
- 5位 フィリピン 2
- 6位 Swing 2 (中国、アメリカ、オランダ)
- 7位 ウガンダ
- 8位 湘南白百合

決勝の前に、キーノートスピーカー、Arlene Mulder 氏 (We Think Code\_ Co-founder, BiB.africa Co-founder, 2019 Forbes Woman Africa winner (Technology and innovation Award)) のご登壇があり、発展途上国における教育についてお話いただきました。氏のディベーターとしての経験も活かした内容に生徒たちは興味津々でした。

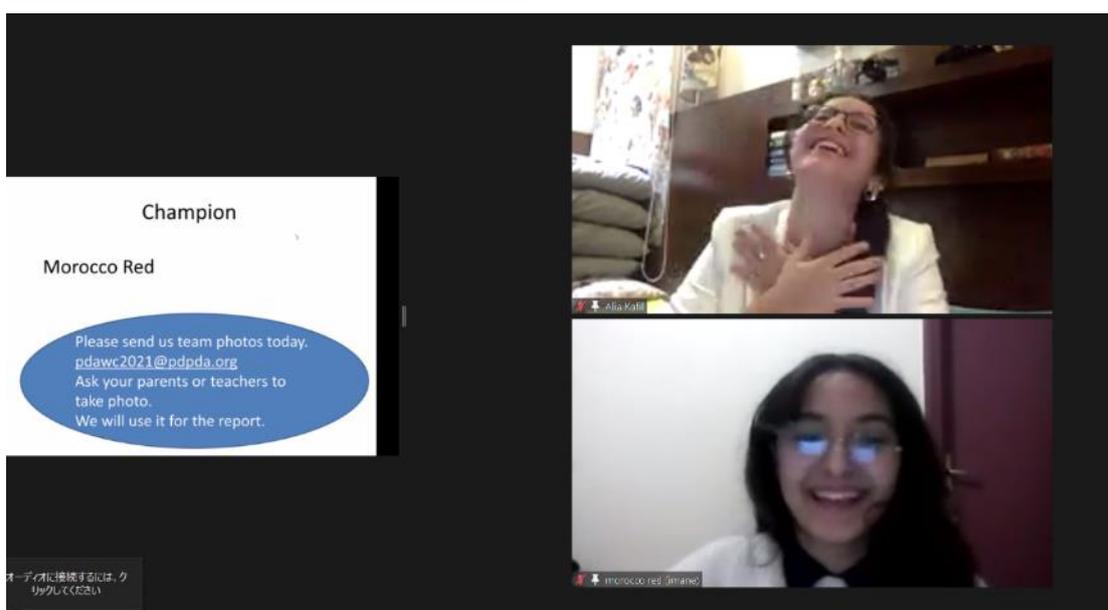


キーノートスピーカーに質問するモンゴルの高校生

キーノートスピーチの後はいよいよ決勝(モロッコ(レッド) 対 フィリピン2)です。張り詰めた緊張感の中、全ての参加者が2日間一緒にディベートを行い、勝ち上がったチームのスピーチを真剣な眼差しで見つめていました。ジャッジの投票が3-2の接戦の結果、優勝者はモロッコ(レッド)でした。



閉会式では、表彰式とチーフジャッジの綾部先生より講評がありました。最後に、PDA 代表理事中川から「来年もお会いできることを楽しみにしています。これからも頑張ってください。」とエールが送られました。





新型コロナウイルスの影響下でオンライン開催となりましたが、大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

## 第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会結果

### チーム賞

優勝：モロッコ（レッド）

準優勝：フィリピン2

準決勝出場チーム：聖光学院高等学校、モロッコ（グリーン）

### 個人賞

#### ベストディベーター賞

- 第1位 [REDACTED] (Morocco Red)
- 第2位 [REDACTED] (Thailand)
- 第2位 J [REDACTED] (Viet Nam/ Korea Swing)
- 第4位 [REDACTED] (Uganda)
- 第4位 [REDACTED] (Morocco Green)
- 第4位 [REDACTED] (Mongolia)
- 第4位 [REDACTED] (Philippines 2)
- 第4位 [REDACTED] (Kakunodate)
- 第4位 [REDACTED] (Kobe Univ. Secondary)
- 第4位 [REDACTED] (Shonan Shirayuri)

#### POI 賞

- 第1位 [REDACTED] (Mongolia)
- 第1位 [REDACTED] (Philippines 1)
- 第3位 [REDACTED] (Morocco Green)
- 第3位 [REDACTED] (Thailand)
- 第5位 [REDACTED] (Seiko)

### 文化賞

フィリピン

角館

青森

タイ

## 第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 感想

### 世界交流大会の感想（抜粋）

（生徒）

- 今回参加して多くのことを学びました。また、様々な国の人と出会い友人もできました。次の機会もぜひ参加したいです。（タジキスタン）
- 他の学校と交流できたことがとても良い経験でした。全体としてとても楽しかったです。（モンゴル）
- 主催の方がとてもやさしく、いい機会になりました。（フィリピン）
- （キーノートスピーチについて）彼女のスピーチ内容に感動しました。影響力があったと思います。（モロッコ）
- 海外のチームとディベートできて楽しかったです。様々な国の生徒と交流できたところもよかったです！新しい友人がたくさんできました！（モンゴル）
- PDAWC は私が初めて参加するディベートの大会でした。オンラインで参加し、このような結果が出せたことは私とチームにとって誇らしいことです。自分のポテンシャルに自信が付きましたが、それと同時に海外のより優れたディベーターがいることも実感するので向上心も湧いてきました。（フィリピン）
- （キーノートスピーチについて）良かったです。現在の社会について鋭い視点で切り込む言葉が印象的でした。（フィリピン）
- 新しい視野を得る楽しい時間でした。ありがとうございました♥（アラブ首長国連邦）
- この歴史的なイベントに参加できて嬉しいです。次が待ちきれません（ウガンダ）
- 様々な国の人と関わり、伝統や考えを共有できるともいいトーナメントでした。チョコレートもおいしかったです。（日本）

（教員）

- ディベートだけでなく、海外の学校と交流できたことが素敵でした。（日本）
- 今年で参加3年目ですが、毎年満足しています！（フィリピン）
- （改善点）特にないです。すべてが良かったです（モロッコ）
- 完璧で素晴らしい体験でした。参加できて誇らしいです。（タイ）
- 参加できて本当に良かったです。（タジキスタン）
- PDAWC の全てが素敵でした。世界中の人と本当の意味でつながれたと思います。（日本）